

京交山岳部報

例会・行先	日程・集会	担当者	コース
第1991回★ 雲取山～芹生	3/5(土) AM7:00 出町柳駅前 京都バス乗場集合	鷺見敏一(689)	出町柳駅-寺山峠-雲取峠 -雲取山-芹生-貴船神社 -貴船口駅
平成5年度総会兼今月の集会 日時 3月14日(月) PM6:30 場所 鳴滝寮		企画運営委員会 日時 3月22日(火) PM6:30 場所 厚生会館 4F 大教室	





梅花節の出来事

岡田茂久

先月、今年も雪が少ない冬だと言ったとたん、一転して月末から連日のように寒波が襲い、北山は今も真白の雪化粧に装ったままである。2月に入ってからも「建国記念の日」の3連休前後には、日本列島全体を吹雪が荒れ狂った。

3連休は山岳連盟の研修会を兼ねた指導員検定会のため、久しぶりに八ヶ岳へ入山していた。

西高東低の冬型気圧配置がゆるんだ11日は、中部山岳地帯は素晴らしい快晴となり、厳冬期の山を充分満喫することができた。しかし、夕方になると低気圧の接近を知らせる巻雲が現われ、はたせるかな台湾近海に発生した低気圧が、発達しながら北東進してきたのである。いわゆる台湾坊主で、足が速く夜には早くも激しい降雪に見舞われることになる。

翌12日は簡単なバレーションルートの予定であったが、悪天候のため、急遽、変更して小屋近くのジョーゴ沢での検定となった。しかし、先日来の積雪に新雪が重なり、おまけに沢の中というのに強風が舞い狂い、いたるところで小さな雪崩が発生する。そう危険は感じなかったが、氷瀑の登攀中となれば目もあけられず、沢から稜線を目指した何組かのパーティも、雪崩の危険を感じて全部が引き返してきた。11時頃になってパーティの一人が側壁からザイル降下したところ、積雪が多くて腰まで潜り込んでしまったが、途端にその足元から大きな亀裂が走った。崩壊の前兆である。早々に切り上げて逃げ出したが危ういところであった。幸いにも八ヶ岳では事故の発生は無かったものの、低気圧が去った後の季節風の吹き出しに、追われるようにして帰洛したのである。

翌日の朝、3日分の新聞をまとめて拾い読みしていると、「雪崩続出2人死亡」の見出しが目飛び込んできた。気の毒にあんな時に登るからだと思いながら、遭難者の名前を見て愕然とした。まさか、福岡岳友会Yさんの名である。

彼は福岡市交通局に勤務する我々の仲間、仕事の関係から昔から親しくして頂いていた。ヒマラヤ遠征経験もある山のベテランである。おまけに芸達者で、懇親会などには「博多にわか」の紙の面をポケットに忍ばせ、ひょうきんな動作と口上は大いに楽しませてくれたものである。

全山がミヤマキリシマの紅に染まった久重大船山の写真を送ってもらった礼に、電話をしたのはつい先日のことである。「この冬は大山しか行けない。八ヶ岳とはいいなあ。今年は是非とも大崩山に一緒にしましょ、もう太宰府の梅の花も咲きました。よかとよ。京都の北野天神はどうですか」。天神さんの梅の花がどんな状態なのか判らず、あいまいな返事をしてしまった。

遭難の状況は12日の11時頃、大山で下山中に元谷で雪崩に巻き込まれたという。11時というと八ヶ岳で雪面に亀裂が発生した時間であり、なにか偶然でないものを感じるのである。

どうしてあんな山のベテランが……。 「大山しか」という言葉の裏には、やはり山に対する油断かあなどりがあったのではないだろうか。

「建国記念の日」、歳時記には「梅花節」とある。「東風吹かばにほひをこせよ梅花 主なしとて 春を忘るな」。明日にでも是非とも天神さんの梅林は訪ねねばと思っている。

【第1987回例会】

冬山講習会 「比良山」

山岡 昭 弘

今回の例会は、御岳の予定でしたが、参加者の都合がつかず、比良山での1日講習となりました。

AM8:30、リフト乗り場に到着、色とりどりのウェアを着込んだスキー客に混じって、異様ないで立ちの7人は、リフト、ロープウェイを乗り継いで比良山頂へと向かいました。山頂は、昨夜積もったパウダースノー色、そして天候は晴れというベストスキーコンディションでした。スパッツをつけ、先週講習会があった八雲ゲレンデの南側の斜面へと向かいました。

約30分後、斜面に到着。少し斜度がゆるいかなと思いつつ、そのを使ってゲレンデづくりにとりかかりました。

しばらくして、ゲレンデもでき上がり、今年指導員検定を受ける2人を中心に確保の練習から始めました。私も約1年ぶりに確保を行ってみました、難しい！、反復練習の必要性を感じました。受検生2人も、少しは感覚をつかんでくれたかな？ 午前中、確保の練習を交代で行ない、昼食後、滑落停止と雪上歩行の練習を行ないました。私は、もっぱら、昨年の受検の体験をもとにして、しゃべり方のワンポイントアドバイスを、そして、他の人は、実技の実際とその秘訣をと、けっこう盛りだくさんの練習、講習となりました。

スキー客で混みだす前に下山しようと、PM3:00過ぎに練習を終えました。

短い練習でしたが、少しは受検生2人の役にたったかなと思いつつながら帰途につきました。

お2人の本番でのご健闘をお祈りします。

(参加者)

岡田、鷺見、吉田、大倉、方山、西尾、山岡

【第1988回例会】

積雪期遭難救助訓練 「比良山系」

山岡 昭 弘

1月29～30日に約70名が参加して比良山系ヤケ山周辺で行われた積雪期遭難救助訓練の報告をいたします。

1月29日

救助訓練会場となる比良山岳センターにはPM5:00集合なので、それまで、指導員実技練習とウォーミングアップを兼ねて、京都を早目に出発し、大倉さんの車で比良山へと向かう。今日は先週とは違って人も少なく、比良山頂へ着いても人影はまばら、さて、どこで練習しようかと、場所をさがしながら歩き出す。ちょうど、強風と人が少ないため、八雲ヒュッテ裏側のペアリフトが止まっており、そのリフト下に良い斜面が……。今日の練習場はここに決め、さっそく練習にとりかかる。確保、滑落停止等の練習を約3時間程行い、遅い昼食の後、下山、比良山岳センターへと向かう。

受付、昼食の後、救急救命士の方による雪山遭難時における心肺蘇生法の実際について全員で実技を行う。心肺蘇生法については、数年毎に、その効果等について検討が加えられ、その方法が少しずつ改定されているので、その時の最新の方法で行ってほしいとのことである。

次に、遭難対策委員の方から、シート、スノーボードを用いての負傷者の搬出についての概要説明、明日の遭難救助訓練の内容説明、班分けがあり、各班毎のミーティングの後、懇親会となった。

[遭難救助訓練内容]

A、B2班に分かれ、A班が比良山系ヤケ山付近を縦走中、メンバーの1人が稜線より滑落し負傷した。救助隊(B班)に連絡をとると共に、他のメンバーにて負傷者を稜線までシートを用いて引き上げ稜線にて待機していたB班にバトンタッチし、負傷者をスノーボードに乗せ、涼峠まで搬出するという想定で行われた。

A班 西尾、山岡

B班 大倉

となった。

1月30日

AM4:00起床、朝食を済ませて、AM5:00出発、訓練現場となるヤケ山へと向かう。前日からの雪が降り積もり、涼峠から先はラッセル行進となる。AM7:00過ぎにやっと現場に到着し、訓練準備にとりかかる。気温-5℃。現場では一夜漬けは通用しない。自分が何をしないといけないのか良くわからない。言われたことしか身体が動かない。それでも、やっと準備完了し、引き上げにとりかかる。ヤブの中ということもあるが、人間1人を引き上げるのに、このように力があるとは思ってもみなかった。結局、後から到着したB班の人の力も借りて、稜線まで引き上げることができた。この間、約2ピッチ分引き上げるのに約1時間半近くかかった。

スノーボードに負傷者を乗せ換え、A班はルート工作、段差のある部分でのスノーボードのかじ取り補助をしながら涼峠まで下山、訓練を終了する。

山岳センターに帰着、昼食、反省会の後、解散となった。

ザイルワークを含めた日頃の練習の大切さと、チームワーク、そして、1に体力2に休力、3、

4がなくて、5に体力を痛感させられた1日であった。

(参加者)

大倉, 西尾, 山岡

【個人山行】

富岡山 Ⅱ△等 707.3m

大槻 雅弘

朝, 京都の山々は真っ白であった。

久し振りの雪に童心のように心はおどったが、はたして、今日約束している富岡山の山麓である上夜久野まで、車で行けるだろうか心配であった。早朝、家を出ると舗道は真白で、洛西を越える中山で、すでに車は長い列を作り止まっていた。もう、チェーンを巻かなくては走れない状態である。我が愛車は雪に備えてスパイクタイヤと交換しておいたので止まっている車を横目にスムーズに中山を越えて待合わせ場所の洛西車庫へ着いた。昨夜、天気情報を聞いていたおかげである。

今日の目的地は、福知山を越へ上夜久野まで100km近く走らねばならない。洛西から高速に入ると、さすがに有料道路の為か完全に除雪されていた。途中心配した観音峠は雪も少なく、R9とR27の分岐点の須知に無事に着いた。そこからR9は、いつもの日曜日と違って殆ど車もなく、車道は白かった。福知山から上夜久野まで思ったより早く走ることが出来た。山麓の西垣は、国道から少し入り込んだ村であるが、日曜日というのに道路は除雪されていてありがたかった。地元の方に、前もって富岡山の登路を確認しておいたので、登山口にあたる集会所前に車を止めて登山準備をした。

登山ルートは、約400m程の高度にある夜久野鉾山に向かって取付けられた車道を一登りし、途中、300メートルコンターから、西への谷筋へと辿った。約30cm程の雪は、そう苦労もなく進むことが出来、思ったより谷も開けていてピッチがはかどった。

今日の山仲間は、海外登山経験のベテラン者で体力もあって、いつまで歩いても一向に休もうと言わない。エライ人と今日は来てしまった。上部の谷筋へと進むにしたがい、雪も深くなり膝以上のラッセルになった。やがて、山腹に竹が多く現れ、それを過ぎると杉の植林帯へ入った。杉の真直に伸びた梢の間からは青い空と、白い雲が流れ、陽も斜し込んで雪面に模様を作っている。その杉林の陽だまりで一休みした。雪の中で、一汗かいての一杯に熱いお茶とチョコレートはおいしかった。

約1時間半の登りの後、南から登ってくる尾根とあった。そこから緩い登りになり、更に小さ

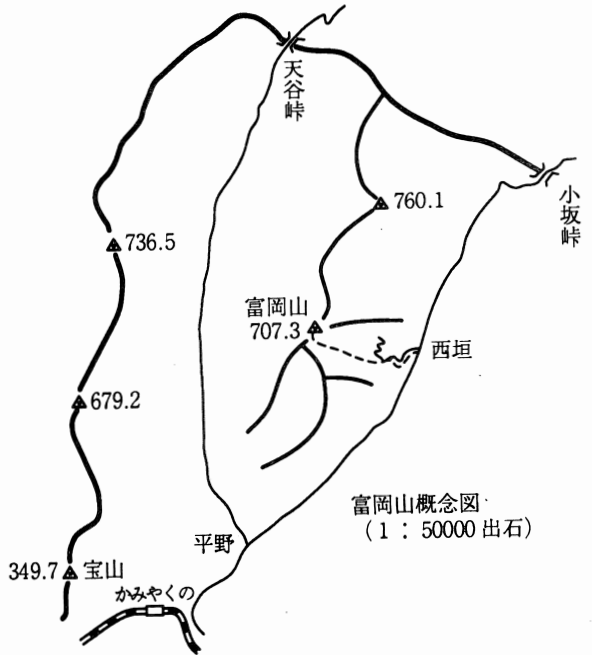
な尾根が西から合する三角点直下へと
出た。

地図を見るともう頂上は目の前である。先行した一人の仲間が「あった！」と叫ぶ。西からの尾から、ほんの100mも進んだ所に、朽ちかけた櫓をみつけた。富岡山Ⅱ等三角点はその櫓の下
の雪の中に眠っていた。登り2時間、最短距離で三角点へ登れた。

三角点から少し離れた所に、開けた場所があって、ちょうど陽もあっていたので、そこを昼食場所とし雪の中で、暖かいスパゲッティやラーメン等を食べて、少しウイスキー等も飲んで楽しい一時を過ごした。周囲は残念ながら展望はきかなかったが、櫓があったおかげで三角点も見つかり標石も写真を撮ることが出来た。

下りは、ラッセルしたルートを滑るように30分余りで車へ着いた。頂上では陽も差すいい天気であったのに、降り立った時には、重くのしかかった鉛色の空から雪もちらつき、冷たい風が吹いてきた。でも、今日のは出発した時、車のこと、雪のこと、ルートのこと等で登れるだろうかと心配したが早く登ることが出来て、遠い山であったにもかかわらず、夕方には京の町へ帰りついたラッキーな山行であった。

1994.2.6 同行者2名



例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記 事
1986	'94 スキー 野沢温泉	1月14日 ～18日		大倉寛治郎		(次号報告)
1987	冬山講習会 比良山	1月22日	晴	吉田 武	岡田, 鷺見 吉田, 大倉 方山, 西尾 山岡	(別稿詳報) 行先を木曾御嶽から変更しました。
1988	積雪期遭難救助 訓練 比良山系	1月29日 ～30日		大倉寛治郎	西尾, 大倉 山岡	(別稿詳報)

部員動静

目的地	月日	天候	参加者	記 事
北九州方面の山			伊藤 潤治	北九州方面の山9山を現地にてレンタカーをチャーターして十二支会例会(犬鳴山)に便乗登頂いたしました。 地回 1/20万 福岡 1/5万 太宰府, 背振山, 浜崎, 直方
若杉山 独	1月13日	雨	河村 清	
米ノ山 IV	"	雨	他1名	
砥石山 I	"	曇		
九千部山 II	1月14日	雪		
権現山 III	"	雨		
背振山 II	"	雪		
天山 I	1月15日	快晴		
羽金山 II	"	快晴		
犬鳴山 III	1月16日	晴		
富岡山	2月6日		大槻 雅弘 他2名	(別稿詳報)

雑 報

△△△ 2月の集会

日 時 2月9日(水) PM6:15～6:55
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 (本局) 井戸, 三橋, 山岡 (梅津) 吉田 (OB) 津田
以上 5 名
内 容 例会報告ほか

△△△ 1月の企画運営委員会

日 時 1月21日(金)
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 岡田, 鷺見, 大槻, 吉田, 大倉, 奥村, 和田, 馬淵
内 容 例会予定, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

1 月 分 愛宕ニュース
2 月 分 京都山岳, 近畿山行, 趣味の登山, 木雞, 山友, 青嶺, 北山

△△△ 訃 報

山岳部OB部員の久保忠三氏は、かねてから病氣療養中のところ、1月27日、ご逝去されました。享年60才。謹んでご回向とご冥福をお祈り申し上げます。

△△△ お知らせ

日山協山岳遭難共済平成6年度第一次募集を下記のとおり行っています。

費 用 7920円 (1年間)
申込先 事務局 井戸 (内734)
締 切 平成6年3月14日(月)

平成5年度京交山岳部総会兼3月集会を下記のとおり行います。ふるってご参加下さい。

日 時 平成6年3月14日(月) PM6:30～
場 所 鳴滝寮(TEL 461-6510)
会 費 1000円(当日徴収いたします)

京交山岳部 45 周年記念登山

「北海道（道東の山旅）」ご案内

京交山岳部は平成6年7月で満45周年を迎えます。それを記念して、北海道斜里岳・羅臼岳に登ることになりました。宿泊はすべて温泉で、知床半島の船による観光もあり、帰路は札幌からトワイライトエクスプレスによる豪華な汽車の旅も選択できます。部員の皆さん、ふるって参加して下さい。

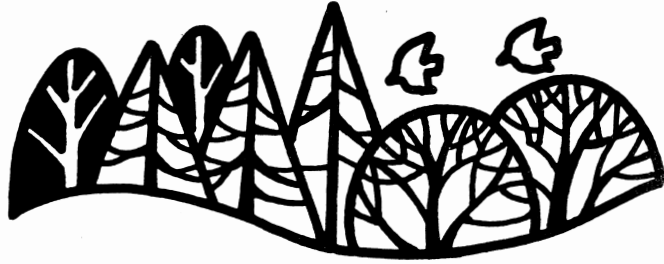
日 程 平成6年6月29日（水）～7月3日（日）（往復 飛行機）
～7月4日（月）（往路 飛行機
復路 トワイライト）

行 程 29日 八条口（7：30）～大阪空港～釧路空港～釧路湿原～摩周湖～屈斜路湖～川湯温泉（泊）
30日 川湯温泉～斜里岳（△1,547m, 歩行5hr）～原生花園～ウトロ温泉（泊）
1日 ウトロ温泉～知床半島遊覧（船）～知床五湖～湯の滝～岩尾別温泉（泊）
2日 岩尾別温泉～羅臼岳（△1,660m, 歩行7hr）～層雲峡温泉（泊）
3日 層雲峡温泉～羽衣の滝～札幌市内（ビール園で昼食）～飛行機又はトワイライトエクスプレスで帰路（飛行機 大阪着 午後7時頃）
4日 トワイライトエクスプレス京都着（正午頃）

費 用 往復飛行機の場合 16万円
帰路トワイライトの場合 16万5千円

幹 事 鷺見敏一（第三建設事務所 689）
吉田武（梅津整備 654）
井戸澄夫（設計課 734）

備 考 1. 道内の移動はレンタカー（マイクロバス）で行います。
2. 登山（斜里岳、羅臼岳）はいずれも日帰り登山で、幕営等の用意は必要ありません。
3. 宿泊先は4泊とも温泉地のホテル又は旅館です。
4. トワイライトエクスプレスは2人用個室でディナー付きを考えています。（予約の状況で変更の可能性があります。）
5. 申し込み締め切り日
・トワイライトエクスプレスを利用する方 3月25日
・往復飛行機を利用する方 5月25日
（申し込みは幹事まで）



THE LOG CABIN CO.

H. HASEGAWA'S SHOP FOR ALPINISTS
KYOTO JAPAN

登山道具店 ログケビン

☎604 京都市中京区御幸町通蛸薬師下ル
FAX:(075)221-8069 電(075)221-7569
営業時間:午後3時~8時 お問い合わせはなるべく郵便か
定休日:月曜日と火曜日 FAXでお願いします。

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88

TEL (075)771-3442

帆布・濾布
テント・シート
雨合羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)

西大路営業所
下京区西大路七条下ル
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カーブをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



ビッグホリイケ

営業時間 AM10:00~PM9:00 <年中無休>
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
☎(075)222-0363

しまめ
鮮の歯軋……………②

主人が賀茂川の河川敷でゴミ拾いをした。空き缶・空きビンが圧倒的に多い。昨秋、ボク（柴犬・八歳）が空き缶を誤って踏み、三針縫う大怪我をしたからだ。「犬も歩けば空き缶にあたる」住みにくい世の中になった。さて、河川敷で回収したゴミは京都市、京都府、建設省のいずれで処理してくれるのでしょうか。

制作 (株)北斗プリント社

〇七五―七九一―六二二五

京都で唯一の山の専門店

Now Out door sports

ハイキング&キャンピング・クライミング
アウトドアウェア・US旗出品
ポータブルカフト用品

MOUNTAIN

〒604 京都市中京区二条通河原町西入
TEL 075(258)-0548
●営業時間 AM10:00～PM8:00 毎週火曜定休
（株）スポーツ・ソコニシ



株式会社

小林地図専門店

建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
国土地理院空中写真（カラー・白黒）取次
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
各種地図製作並びに印刷
地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

〒600 京都市下京区^{あけず}不明門通六条下る西側
（烏丸通六条東 1筋目下る） ☎ (075) 351-6598

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

平成6年3月1日

京都市中京区壬生坊城町 4 8

京都市交通局内

京交山岳部